

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- 業況判断D.I.は、「良い」超幅が拡大。

—— 製造業は、「良い」超転化。非製造業は、「良い」超幅が拡大した。

—— 先行きについては、「良い」超幅が縮小する見通しである。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、 繊維、鉄鋼	需要増加 コストダウンによる収益改善
	悪化	食料品、輸送用機械	コストアップによる収益悪化
非製造業	改善	宿泊・飲食サービス、小売、建設、 物品賃貸、運輸・郵便	価格転嫁の進捗 需要増加
	悪化	電気・ガス、不動産	需要減少

(事業計画)

- 2025 年度は、売上高、経常利益ともに前年を上回る計画である。

—— 経常利益は、製造業では、価格転嫁の進捗などから増益計画となっている。一方、非製造業では、コストアップなどから減益計画となっている。

- 2025 年度の設備投資は、前年を上回る計画である。

—— 製造業は、能増投資などから、前年を上回る計画である。非製造業は前年の大型投資の剥落などから、前年を下回る計画である。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D. I.、仕入価格判断D. I.は、「上昇」超幅が縮小した。
- 雇人員判断D. I.は、「不足」超幅が縮小した。
- 資金繰り判断D. I.は、「楽である」超幅が縮小した。貸出態度判断D. I.は、前回調査並みの「緩い」超幅となった。借入金利水準判断D. I.は、「上昇」超幅が縮小した。

以 上